

編集 後記

本号には原著3編、資料1編掲載されています。そのうち2編が質問票による情報の将来予測能に関する研究です。辻らの論文では、質問票で得られた情報が、将来における要支援・要介護認定を予測できるかを評価しています。また、蔦谷らの論文では、特定健康診査で使用している質問票で得られた情報が、将来におけるメタボリックシンドロームや高血圧発症を予測できるかを評価しています。普段の業務で使用している一般的な質問票の内容が、何ら将来を予測しないのであれば、何のために時間をかけて質問票で評価するのか、その意義が問われてしまいます。その意味で、将来予測能の高い質問票を作成することができれば、こうした質問票による評価はさらに意義のあるものになると考えられます。

また、渡邊らの論文は、健康増進施設や地域包括支援センター等を利用している人ほど社会との関係が維持されていたとする論文であり、介護予防事業についての一定の効果が示されています。八巻らの論文では、視覚障害者の健康診断の受診や医療情報へのアクセスについて評価を行い、一般住民と大きな差はなかったものの、未受診者においては障害を背景とした不安や困難があると、さらなる環境整備の必要性を指摘しています。

本誌は、できるだけ原著論文として出版できるよう投稿規定を見直しました。また、論文カテゴリに関する著者らの意向を尊重するとともに、支援的査読を査読方針とした結果、原著論文での採用が増えております。本誌への投稿は、学会総会での一般演題数が1500以上あることを考慮すると依然として少ないのが現状ですが、公衆衛生学領域の基幹的な雑誌となれるよう日々努力しております。会員の皆様におかれましては、積極的な投稿をお願い申し上げます。
(関根道和)

次号予告 (第64巻・第6号)

原著

急性期病院における後期高齢者の経済状況と退院先の関連：退院患者の調査票情報を用いた症例対照研究……………佐方信夫，他
登校回避感情と関連する要因：文部科学省スーパー食育スクール事業の結果から……………穂本昌寛，他
地域在住の自立高齢者における膝痛の有症率と膝痛者の基本特性：全数調査……………佐藤慎一郎，他

資料

社会福祉協議会支え合い事業を利用する独居高齢者の特徴……………横川吉晴，他